【モニタリング項目 ID 19:主要山岳部における登山者数】

登山者カウンターによる登山者数の調査は計測期間の終了や計測地点の見直しを含めて現在6地点となる。

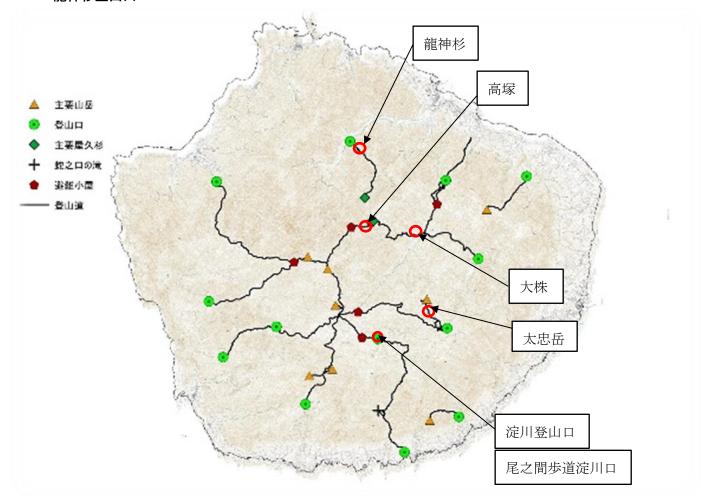
1. 調査個所

継続して運用中の計測地点

- ・大株歩道(日帰り縄文杉登山の一般ルート上、小杉谷バイオトイレ付近)
- ・淀川登山口
- ·**高塚**(高塚小屋~新高塚小屋間)

2019年より計測している地点 (データ解析は 2020年より実施 3 カ年を目安に計測)

- ・太忠岳(210分コース天文の森の釈迦杉より奥)
- ・尾之間歩道淀川口(淀川登山口から尾之間歩道へ50m)
- ・龍神杉登山口



2. 調査結果

(1) 各調査個所の利用者数(2021年1月~12月)

2021年入下山者数(月別データ)

	大	.株	淀	Ш	高	塚	尾之間	間淀川	龍名	申杉	太忠		
	入山者	下山者	入山者	下山者	入山者	下山者	入山者 下山者		入山者	下山者	入山者	下山者	
1月	259	261	29	24	69	89	69	89	7	9	0	0	
2月	492	481	66	47	4	6	4 6		2 5		0	0	
3月	3562	3503	651	440	0	0	0	0	26	30	0	0	
4月	2963	2474	864	612	0	0	1349 863		14 15		97	108	
5月	4143	3707	1242	939	209	485	6	8	16	20	175	165	
6月	1276	980	313	267	30	67	5	8	7	3	50	52	
7月	3597	3522	526	434	102	155	14	18	11	14	91	85	
8月	3689	3604	652	519	0	0	8	16	17	13	128	131	
9月	2953	3000	510	379	0	0	3	6	9	14	100	100	
10月	4002	4041	1070	746	0	0	4	6	9	6	190	194	
11月	4324	4495	1335	954	0	0	11	23	6	10	8	6	
12月	1855	1742	235	995	0	0	2	2	0	0	0	0	
合計	33115	31810	7493	6356	562	1209	1402	950	124	139	839	841	
欠測日数	0		0		2	16	2	26	0 (12月	未集計)	0 (12 月未集計)		

※黄色部分は欠測期間やエラーが生じたため参考値とする。灰色部分は未集計。

主要登山道月別利用者数



新型コロナウイルス感染症拡大の影響では、2021 年は 2020 年と比べると厳しい外出自粛要請は出されなかったものの、鹿児島県や屋久島町は来島者に感染症予防を求める要請を継続した。

【主な動き】

- ·第2回緊急事態宣言 2021年1月8日~3月21日(一部都府県に適用)
- ·第3回緊急事態宣言 2021年4月25日~9月30日(一部都府県に適用)
- ・鹿児島県緊急事態宣言発令(まん延防止等重点措置) 2021年8月13日~9月30日

(2) 主要ルートにおける年間の利用者推移

		大株		淀川		高塚						
		入山者	下山者	入山者	下山者	入山者	下山者	入下山者合計				
1999年 平成11年		13266	15642	7732	5603							
2000年	平成12年	29717	27349	15225	11687							
2001年	平成13年	39625	41455	17255	20157							
2002年	平成14年	34056	38939	16522	13897							
2003年 平成15年		40834	42738	17916	12301							
2004年	平成16年	41866	47125	17203	11152							
2005年 平成17年		53619	56158	20470	14274							
2006年 平成18年		63237	63589	14585	11376							
2007年	平成19年	67074	67779	14839	11372							
2008年	平成20年	92609	84565	16490	12597							
2009年	平成21年	91015	85082	14854	11353	1562	2942	4504				
2010年	平成22年	89623	83517	10626	8017	4036	5606	9642				
2011年	平成23年	82620	78205	10677	7868	1134	2731	3865				
2012年	平成24年	83862	82898	12211	9131	N.D.	N.D.	N.D.				
2013年	平成25年	83466	85025	N.D.	N.D.	1622	3559	5181				
2014年	平成26年	74402	75732	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.				
2015年	平成27年	56994	56232	12791	9201	2239	5447	7686				
2016年	平成28年	60102	58561	6583	4529	2512	5273	7785				
2017年	平成29年	65413	63252	12760	9169	2854	6179	9033				
2018年	平成30年	60992	58557	11715	8382	2019	5170	7189				
2019年	平成31年/令和元年	45882	42594	9685	7179	1272	4138	5410				
2020年	令和2年	29503	28851	5912	4603	366	585	951				
2021年	令和3年	33115	31810	7493	6356	562	1209	1771				

※欠測(N.D または灰色網掛け部)

- ・2016年淀川は151日間欠測。
- ・2017 年高塚 12 月データ欠測。
- ・2018 年1、2 月淀川、同じく 2018 年1、2、12 月の高塚データ が欠測。
- ・2020 年高塚が8~12月が欠測、 同じく2021年8~12月が欠測。 これらの値は参考値とする。

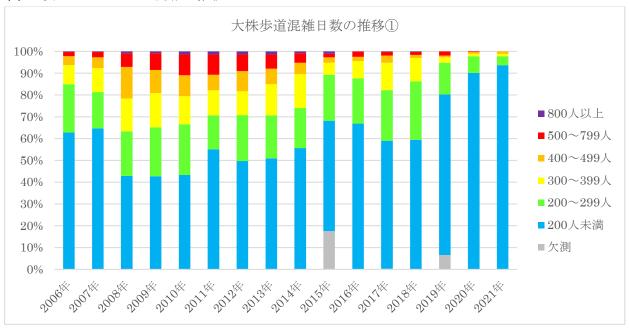


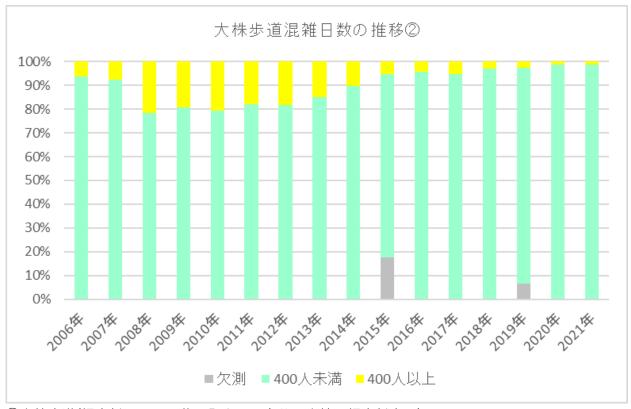
※大株、淀川は入山者データ、高塚は入下山者合計のデータで作成。

※2016年の淀川は欠測日が151日あったため、数値が低くなっている。

- ①縄文杉ルート(荒川登山口・白谷雲水峡⇔縄文杉方面)
- ・2008年のピーク時から減少傾向が続いている。
- ②宮之浦岳ルート(淀川登山口⇔宮之浦岳方面)
- ・近年 12,000 人前後で推移をしていたが、10,000 人を下回った。
- ③宮之浦岳・縄文杉縦走ルート(淀川登山口⇔新高塚小屋⇔縄文杉方面)
- ・機器の不調により欠測が続いた。

(3) 主要ルートにおける混雑日推移





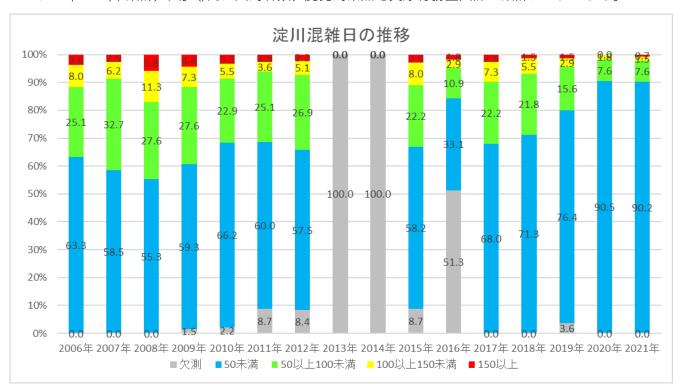
①大株歩道(縄文杉ルート 荒川登山口・白谷雲水峡⇔縄文杉方面)

・混雑日(400 人/日)以上の日数の年間割合は 2008 年の 21.6%をピークに減少傾向となっており、 2008 年から 2014 年までは 10%台であったが、ここ 5 年間は約 5%以下と落ち着いている。 2020 年と 2021 年はともに 1.1%と、過去の間で最も低い値となった。

(1)-2	縄文杉方面における入山者が集中した上位 10日	
\ _ /		

			1		2		3		4		5		6		7		8		9	10
2019年	日付	5/2 ((木)	5/3 (金)	4/280	(日)	5/1	(水)	5/4 (=	±)	4/29	(月)	4/30	(火)	10/2	0 (日)	5/5 (日)	8/12(月)
	人数		790		683		679		648		631		582		559		497		453	426
2020年	月日	7/24	(金)	3/21	(±)	9/20	(日)	9/21	L (月)	11/22	(日)	11/1	(日)	11/2	(月)	9/7	(月)	10/5	(月)	3/20(金)
	人数		507		463		455		407		376		342		339		320		293	290
2021年	月日	7/23	(金)	5/3	(月)	5/2 ((日)	5/1	(±)	4/30	(金)	4/29	(木)	11/21	L(<u>∃</u>)	7/24	(±)	9/19	(日)	8/10(火)
	人数		458		453		449		429		384		363		355		316		293	288

2021 年中は 500 人を超える日は記録されなかった。近年は混雑日が減少している傾向にある。 それぞれの年間合計数は、2019 年は 45,882(259,878)人。2020 年は 31,158(151,411)人、2021 年は 33,115 (未集計) 人。()内は入島者数、鹿児島県熊毛支庁総務企画課の集計データによる。



※淀川は3月~11月のデータを元に作成

- ②淀川歩道 (淀川登山口⇔宮之浦岳方面)
- ・混雑日の割合は年々減少傾向にある。2021年はゴールデンウィークの 4月 30日と 5月 2日にそれぞれ 150人以上を記録した。

■課題

- ・登山道上はほぼすべての地点が林内となり、薄暗くソーラーパネルによる発電効率が悪い。
- →発電量の多いパネルに変更を検討
- ・多湿環境と寒暖差により、機器内部に結露が発生し、基板サビによる故障が続く。